

高齢者に呼びかけることなく「一億総活躍」大臣が登場

2015 年 10 月 7 日の内閣改造で、安倍総理は「一億総活躍」をとなえて担当大臣を登場させた。アベノミクスの先行きを懸念してとされるが、しかし残念ながらオールジャパン経済社会にするために特に高齢者に参加を呼びかけることはないようだ。目標とする「新・三本の矢」も方向がばらばらで「無的放矢」といわざるをえない。

「一億総活躍」の時代へ

内閣改造後の安倍首相記者会見

2015 年 10 月 7 日

本日、内閣を改造いたしました。この内閣は、「未来へ挑戦する内閣」であります。

少子高齢化に歯止めをかけ、50 年後も人口 1 億人を維持する。そして、高齢者も若者も、女性も男性も、難病や障害のある方も、誰もが今よりももう一歩前へ踏み出すことができる社会をつくる。**一億総活躍**という輝かしい未来を切り開くため、安倍内閣は新しい挑戦を始めます。

戦後最大の GDP600 兆円、希望出生率 1.8、そして、介護離職ゼロ。この 3 つの大きな目標に向かって、新しい三本の矢を力強く放つ。そのための強固な体制を整えることができたと考えております。



加藤担当大臣の就任時記者会見(抜粋)（平成 27 年 10 月 7 日）

一億総活躍につきましては、先ほど総理の会見でもございましたけれども、総理は、少子高齢化等の日本の構造的な問題に真正面から挑み、日本の未来を切り開く新たな国づくりとして「一億総活躍社会」を目指す、その決意を表明されました。担当大臣として、その実現のために、総理が掲げられた、「希望を生み出す強い経済」、「夢を紡ぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」、との目標に向けて、多岐にわたる政策を総動員し、「新・三本の矢」として全力で放つべく、関係大臣とも協力・連携をして、全力で取り組んでまいりたいと思います。



一億総活躍推進室看板掛け及び訓示

首相官邸 平成 27 年 10 月 15 日

写真: 看板を掛ける安倍総理

平成27年10月15日、安倍総理は、一億総活躍推進室の看板を掛け、職員への訓示を行いました。



「3年前、安倍政権はスタートいたしまして、『三本の矢』を掲げてデフレ脱却、そして、経済を力強くスタートさせていく、『三本の矢』を力強く放ったわけであります。その結果現在、デフレではないという状況を作り出す、我々は再び力強く成長していくことができるという、自信を取り戻しつつあるわけであります。

そして、我々のアベノミクスはいよいよ第2ステージに入るわけであります。この成果と果実をしっかりと生かしていかなければいけませんし、更にパワーアップしていく必要もあります。

我々は『[一億総活躍社会](#)』という大きな目標を掲げました。少子高齢化、この現実にとしっかりと目を据えながら、この現実から逃れずに、この現実を克服していかなければ、日本の輝ける未来を描いていくことはできないわけであります。

若者も高齢者も、男性も女性も、困難な問題を抱えている人も、また難病や障害を持った方々も、みんなにとってチャンスのある社会をつくっていく。みんながもう一歩前に出ることができるような、そういう日本に変えていかなければならないわけであります。

そのために今日から、この『一億総活躍推進室』がスタートしたわけでございます。皆様方には、その一員としての未来を創っていくとの自覚を持って、省庁の縦割りを排し、加藤大臣の下に一丸となって、正に未来に向けてのチームジャパンとして頑張りたいと思います。

名目GDP600兆円も、希望出生率1.8の実現も、そしてまた、介護離職ゼロも、そう簡単な目標ではありません。しかし、今目標を掲げなければならないわけでありますし、目標を掲げていくことによって、新たなアイデアも出てくるわけでありますし、新たな対策も生まれてくるわけであります。どうか皆様方には、知恵と汗を絞っていただきたいと思います。

皆様方の活躍を強く期待し、私の訓示とさせていただきたいと思います。」